

さくらの里

発行日 令和4年10月13日
 発行 蚕桑地区コミュニティセンター
 電話 85-2153
 FAX 85-2123

子どもたちの笑顔も満開! 蚕桑地区文化祭開催!!



10月2日(日)に蚕桑地区文化祭を開催しました。元気いっぱいのキッズダンスで幕を開けました。射的や金魚すくいなどのあそびコーナーには子どもたちの笑顔があふれていました。展示作品もたくさん出展していただき、ホールがいっぱいになつっていました。

久しぶりに味じまんも実食を行いました。各地区から提供された蚕桑のごつつおに舌鼓。一番人気は東横田尻区の「サバそぼろ」でした。5品のレシピはコミセンで配布中ですでので、お持ちいただきご家庭で作ってみてください。

白鷹町伝統芸能保存伝承事業 高玉芝居定期公演

今回で18回目を迎える、白鷹町指定無形文化財「高玉芝居」の定期公演が行われます。例年、さくらホールが観客でうめつくされ、多くの方々に感動を与え続けています。次世代を担う後継者を育成し、「高玉芝居」を伝承していくため、この機会にぜひご観覧ください。

○日 時 11月22日(水・祝日)
○場 所 さくらの里文化伝承館
(蚕桑地区コミュニティセンターライ)



※今年生の芝居を舞踊と高玉芝居の間にご覧いただく予定です。

○定員 80名
(先着順)
○入場料 500円(当日販売700円)

※定員が限られているため、なるべくお早目にお買い求めください。遠方の方はお取り置きしますので電話で入場券販売場所へお問い合わせください。お願いします。遠方の方はお取り置きしますので電話で入場券販売場所へお問い合わせください。お毒、換気、消毒対策のため、マスク着用、検温、手洗い。遠慮なください。蚕桑地区コミュニティセンター Tel: 0238-1851-2153

○講 師	○内 場 所	○日 時
総務課防災管財係	県や町が行つた対応など 地域住民の避難行動など	10月27日(木) 午後7時～9時 受付は午後6時30分～

地域安全部会主催 防災講話

来年(令和5年)蚕桑小学校が創立100周年を迎えます

過日、「蚕桑小学校創立100周年記念事業実行委員会」を発足しました。四つの部会を構成し内容検討、準備を進めています。

- ・庶務部会
 - ・記念誌部会
 - ・式典・祝賀会部会
 - ・記念事業部会
- です。

令和5年10月21日(土)に記念式典を予定しております。

この紙面をお借りし、都度、状況を報告し理解をいただきながら実行して参ります。ご質問ご意見は、蚕桑小学校(85-2249)まで

○募集とお知らせの掲載について○
今月号のセンター報は、紙面の関係で、募集のお知らせを2～4頁に分散して掲載しています。少し分かりづらいと思いますが、よろしくお願ひいたします。

休館のお知らせ

10月21日(金)、職員が社会教育研究大会参加のため、午前11時以降は事務所不在になります。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

- これから予定
- 10月23日(日) 総合防災訓練
 - 10月25日(火) 高玉芝居入場券販売開始
 - 10月27日(木) 防災講話
 - 10月29日(土) こぐわキッズ広場(午前)
干し柿のれん作り(午後)
 - 10月30日(日) 縄とロープの使い方講習
 - 11月05日(土) 桜の里にこにこウォーキング
(午前)
筆ペン絵文字講座(午後)
 - 11月07日(月) こぐわキッズ広場

*毎週木曜日青色パト車運行

地域すこやか部会主催 石井紀子さんと巡る 桜の里にてこにこウォーキング

秋の蚕桑路を石井紀子さんと一緒に、歴史に触れながら歩いて巡りましょう。今回は東高玉中心のコースとなります。

ツツガムシ治療にあたった新野広陵碑や、中世の東高玉を見て歩きます。

カラーペンを使って描く独創文字。心温まる一枚をポストカードに描きます。

◎日時 11月5日(土) ※小雨決行 午前9時～12時(解散予定)

◎集合場所 蚕桑駅 ◎講師 石井紀子氏
◎集合時間 午前9時 ◎散策地 蚕桑駅・鹿島大宝院跡・睦橋・
◎内容 来年は長井線全線開通100周年 ◎持ち物 飲み物、タオル、
を迎えます。今回は蚕桑駅設置に 雨具等
関わる動きや、睦橋の由来を主題として散策します。
また、少し足を延ばして、

ツツガムシ治療にあたった新野広陵碑や、中世の東高玉を見て歩きます。

◎服装 靴、服装 ◎講師 石井紀子氏
◎参加費 無料 ◎散策地 蚕桑駅・鹿島大宝院跡・睦橋・
◎締切り 10月28日(金) ◎持ち物 飲み物、タオル、
歩くのに適した



◎日時 11月5日(土) 午後2時～3時30分頃

◎場所 蚕桑コミュニティセンター ◎講師 金子由美氏(米沢市)
◎参加費 1200円(材料費) ◎持ち物 以前参加された方は、
◎締切り 10月28日(金) ◎締切り 10月28日(金) ◎締切り 10月28日(金)



中学生の職場体験

9月7日(水)から9日(金)までの3日間、5人の中学生がコミセンの職場体験に来てくれました。花壇の草取りや、新たに購入したワントラックテントの組み立て、コミセン備品の確認や、スマホ相談室の講師などを手伝つてもらつたり、地域の方と一緒に青バト巡回をしてもらいました。また、元気わくわく教室や、絵手紙教室への参加や、スポーツ吹き矢の見学などを通じて、地域の方との交流もしてもらいました。参加した5人それぞれに、職場体験を通しての感想や学んだこと、今後についてなどをお聞きしました。



小谷部将幸さん

この蚕桑地区コミュニティセンターでの職場体験を通しての感想は、自分が思っていたよりも人との関わり合いがとても多いことでした。体験をさせて貰うたびに驚きました。学んだことは、コミュニケーションがとても大切で、生きるときでも、コミセンを利用する人が多いため、電話がかかってきたりと、人の出入りが多くなりました。生きをより人生でもずっとしていいくことなので、その大切さを学びました。自分は活躍する機会があり再確認するきっかけになりました。大切なことを確認するきっかけになりました。地域の人は、地域の人との関わり方で地元の人に感謝の言葉をもらいました。おじいさん、おばあさんとの交流の大切さを学びました。

若い人向けのスポーツを企画すれば、いろいろな人がコミセンを利用するきっかけになると思います。

筆ペン絵文字講座

古名梓穂さん

蚕桑コミニティセンターでは、地域の人に楽しんでもらえるための企画や地域の人の相談、悩み事など幅広い分野で活躍していることを知りました。中学生になつて帰りが遅いため、パトロール車が地域を回つていることを知りませんでした。子供達を地域一体で見守っていることを知り、温かい地区だなあーと思いつきました。コミュニケーションを取ることはとても必要で、自分から踏み出すことも大事だと改めてわからました。

スマホ・パソコン相談室ではお年寄りにとつてはすごく難しいところを丁寧に教えることができました。自分にもできることがあり、おじいちゃんおばあちゃんお年寄りまでたくさんのお仕事をさせていただきました。3日間でたくさんの時間をかけて行つていった文化祭の準備の役はまた立つことの手間と時間がかかります。特に文化祭の準備をするには、地域の人との関わり合いが活発になるのではないかと思いました。



金田健汰さん

今回、蚕桑コミニセントの職場体験を通して、僕は今までたまにしか来ることがありませんでした。1日目はテントを運んだり、10キロの重りを運んだりしました。元気わくわく教室があつたけど、年配の方々と関わることがほとんどありませんでした。けど楽しくできたので良かったです。

2日目はスマホ相談教室がありました。1対1で写真の撮り方などを上手に教えられたので良かったです。パトロール車では地域の人の見回りをしました。初めてパトロール車に乗つてとても貴重な体験をしました。品管表は作り方を初めて知りました。コミニセン報などの誤字脱字の確認をしました。

3日目は絵手紙教室などをしました。頑張って花を描くことができました。このたさん仕事を2人でしているなんてすごいと思いました。

墓品遼佑さん

し桑青ン仕ニ変りいい
ま地パ能事テな、まるコ
し区ト力がイ仕重した
たでにの進セ事いたかユ
。も乗大まんだも。わニ
ま知つ切なタとのだかテ
らてさい！わをけらイ
機会が蚕がこのか運どなセ
場地くや場まだ々てタ
あ所区わ、体しりな樂！
あれがをかコ験た思企なは
多回りミで。つ画仕最
乗りまユは今ての事初、
計回い準だ、何をし
てまいりました。ケ画のた備と思
つたびつた。通コよをしつて
すぐ。あシリミリ大たて
。り蚕とヨニユ大たて

職場体験の3日間を通して、若い人にもコ
ミュニティセンターに来てもらうために、若い
人が講師になるような企画や、若い人とお
年寄りの方でチームを組んでスポーツをする
年寄りの企画をするといいのではな
いました。

金田結以さん

コミュニケーションセンターには、小学生のときの行事でしか行ったことがありませんでした。でも、今回の職場体験で多くの企画があり、いろいろな方が参加していて、蚕桑地区の交流の場になつていて感じました。青パトにも乗り、いつもこのように小学生を見守つてみるとわかり、貴重な体験になりました。私も企画に参加し、地域の方と関わつてみた。自分で自分からコミュニケーションをとることで、場を和ませたり、より親しくなつたりするなど、実際に大切だと改めて考えることができます。特に、2日目のスマホ教室では、一対一で真っすぐに質問に答えたり、一緒に樂しく活動することができました。

熟年元気クラブ 最上三十三観音巡り

9月13日、熟年元気クラブ（古名正幸会長）は三年ぶりに最上観音巡りで活動を再開しました。当日は天気にも恵まれ、十七名の参加者が、白鷹町歴史民俗資料館学芸員の石井紀子さんの案内で、二番札所の山寺から、山形市内の千手堂、圓應寺、唐松、長谷堂、上山市の高山お松観音など9か所を巡りました。いずれの観音様も、お堂や隣接するお寺は立派なたずまで、置賜観音の素朴さとの違いを感じました。また、長谷堂観音堂がある長谷堂城公園の山頂から見下ろす山形市内の眺望は疲れを忘れさせてくれました。石井さんの興味深い説明と、参加者からの質問に丁寧に答えていただき、久しぶりに充実した有意義な一日を過ごすことができました。



今、伝えたいことは ㉖

リーダーを名乗る者は、
リーダーらしく話さなければなりません。
それは誠実に、真実を話すということです。

カマラ・ハリス
(アメリカ合衆国の政治家、
法律家。
同国第49代副大統領)



LINE公式アカウント

蚕桑コミセン事業を中心に
LINEで地域情報を発信し
ています。LINE公式アカウントに右のQRコードから友
達登録をお願いします。



麗とが品 ただせには文 化祭 しきし、秋の寄せ植えを作りました。約20名の参加者の作品

てあり個の 繁殖展示了さ

でした。綺 たまし たまし たまし

ても個の 性作



ガーデニング教室

9月29日、花ショップボピーの齋藤憲昭さんを講師にお招きし、秋の寄せ植えを作りました。約20名の参加者の作品

風に乗る事実と違う裏話

この頃は亭主苦手で留守が多い逆立ちで見ても太陽空にいる

川柳

蚕桑文柳社作品

課題 「得意」

得手勝手人それぞれの得意技
レシピ不要目分量です母の意味
お得意様商売人には神様よ

ユーモア句
涙ツボ時々使うのも得意
逆らつて見ても夫婦でいる安堵

一 韶
杯 月

凡 韶
古 月 柳

一 八 案
杯 重 柳

あとがき

今年は季節感が分かりにくいう氣候でしたが、早いものでもう10月になつたんですね。そろそろ冬に向けて準備を始めなきやですね。雪囲いの講習を受けなきやです。着任して半年になりますが、まだまだ皆さんに助けて頂くことばかりです。下期も頑張りたいと思いまします。引き続きお力を貸し下さい。よろしくお願ひます。（廣瀬）